

2020年2月7日

「SUBARU BELL 412EPX」をシンガポールエアショー2020にてアジア初公開

SUBARUは、2020年2月11日～16日の6日間、シンガポールのチャンギ・エキシビション・センターで開催されるシンガポールエアショー2020(主催:Experia Events Pte Ltd.)において、民間向け最新型ヘリコプター「SUBARU BELL 412EPX」の実機を、共同開発パートナーのベル社(本社:米国テキサス州)と共同で、アジア市場で初めて展示します。

シンガポールエアショーは、成長著しいアジア市場において二年に一度開催される、アジア最大級の国際的なエアショーで、SUBARUは今回が初めての出展です。

「SUBARU BELL 412EPX」は、SUBARUが独自開発したレーザーピーニング技術によるメインローターギアボックスの強化をはじめ、ドライラン能力の向上、最大全備重量の増加、エンジン出力向上等の性能改良を施し、お客様にさらなる輸送能力と運航効率の向上を提供します。

■シンガポールエアショー2020 主な出展内容

「SUBARU BELL 412EPX」の実機、および「SUBARU BELL 412EPX」「陸上自衛隊新多用途ヘリコプター」の模型を展示します。



SUBARU BELL 412EPX
(イメージ)